

《2025桜雲同窓会盛岡支部報告》

令和7年8月26日(火)夜、桜雲同窓会盛岡支部総会・懇親会が開かれました。34期(昭和44年度卒)の先輩から84期(平成31年度卒)の若手まで、110人の卒業生が集いました。来賓として高橋光彦桜雲同窓会副会長(34期)、花巻北高校の佐々木信明校長(48期)、事務局のレヴィン小倉ちひろ教諭(56期)をお迎えしました。総会では逝去された方への黙祷、校歌斉唱に続き、眞下卓也盛岡支部長(46期)の挨拶。議事では支部の収支決算、役員改選案が了承。対談では大迫佐藤葡萄園代表の佐藤直人さん(43期)とIBC神山浩樹アナ(50期)が登壇。佐藤さんは医療機器メーカーを早期退職し花巻市大迫町で就農、自家醸造に挑んでいる半生を語りました。独自のデータ管理による栽培方法を紹介し、今後について「岩手・花巻・大迫の風土をワインという形で表現したい」「父がよく言っていた『ケセラセラ』と、静岡県西部に暮らしていた頃に培った『やрмаいか』の精神を胸に、一度の人生でやりたいことを実現していきたい」と思いを込めました。懇親会ではファーストヴィンテージ「ツヴァイゲルトレーベ2021(赤)」を味わいながら世代を超えた交流が繰り広げられました。クライマックスは第一応援歌などを歌い、揺るぎない母校愛を共有しました。

